

宗像市市民参画等推進審議会議事録（要点筆記）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|-------|--------|--|--|
| 日 時 | 令和3年6月21日（月）9：20～ | | | | | | | | | | | | |
| 場 所 | メイトム宗像202会議室 | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | <table border="0"> <tr> <td>■ 新井佳代子</td> <td>■ 大里朋子</td> <td>■ 鎌田隆徳</td> <td>■ 木村健次</td> </tr> <tr> <td>■ 佐藤靖成</td> <td>■ 種田明美</td> <td>■ 福岡佐知子</td> <td>■ 東博子</td> </tr> <tr> <td>□ 山田明</td> <td>■ 吉村義廣</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（五十音順、敬称略）</p> | ■ 新井佳代子 | ■ 大里朋子 | ■ 鎌田隆徳 | ■ 木村健次 | ■ 佐藤靖成 | ■ 種田明美 | ■ 福岡佐知子 | ■ 東博子 | □ 山田明 | ■ 吉村義廣 | | |
| ■ 新井佳代子 | ■ 大里朋子 | ■ 鎌田隆徳 | ■ 木村健次 | | | | | | | | | | |
| ■ 佐藤靖成 | ■ 種田明美 | ■ 福岡佐知子 | ■ 東博子 | | | | | | | | | | |
| □ 山田明 | ■ 吉村義廣 | | | | | | | | | | | | |
| 事務局 | コミュニティ協働推進課政策係（花田課長、杉山係長、成瀬、金子、佐藤） 元氣な島づくり課元氣な島づくり係（梶木） | | | | | | | | | | | | |

1. 審査会（9：20～12：00）

審査会のスケジュール及び審査方法について事務局から配布資料に基づき説明。
各申請団体から申請内容に関する説明を実施後、審議会委員から質疑応答。

○人づくりでまちづくり事業補助金

①赤ちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ「子育て支援(3-1)」

市関連部署；子ども育成課

《質疑等》

- （質疑） 他団体からの助成金を活用する計画はあるのか。
（団体から応答） 本補助金とは別の事業にて他団体の助成金を活用する計画はあるが、まだ確定していない。
- （質疑） 利用者数を増加させるために何か検討をしているのか。
（団体から応答） 参加したお母さんからの口コミやSNSの利用、チラシの配布を考えている。
- （質疑） 緊急事態宣言下で活動は実施したのか。
（団体から応答） 緊急事態宣言下でも活動はしていたが、時間の短縮、換気をこまめに実施、外のデッキを利用するなど新型コロナウイルス感染予防対策をしていた。
- （質疑） 開催日は、祭日に関係なく月曜に開催しているのか。
（団体から応答） 祭日に関係なく月曜に開催している。
- （質疑） 団体が活動している繰越金は、予算書のどの部分にあたるのか。
（団体から応答） 本補助金の自己資金に該当し、また活動費の不足が発生したときに充てる予定である。

②母と子のサロン つむぎ「母と子のサロン つむぎ(3-1)」

市関連部署；子ども育成課、子ども家庭課

《質疑等》

- (意見) 団体の人員が3名であるが、人員を増加させるなど、持続可能な団体として活動してほしい。
- (意見) 初めて出産している方等にとって大切な事業であると思う。他にも同じよう趣旨で活動をしている団体との意見交換等は団体の活動に役立つのではないかと。団体が活動を続けていくために、組織の在り方を団体内で協議し、必要に応じて行政からもアドバイスを受け、活動を継続してほしい。

③「中央学園」サポート本部「子育て支援のための人材派遣、発掘・養成事業(3-1)」

市関連部署；教育政策課

《質疑等》

- (質問) 会員の会費が免除となる条件はなにか。
- (団体から応答) 会員には、一般会員と賛助会員があり、一般会員はボランティアとして参加してもらうことを考えている。そのため一般会員から会費をもらわず、賛助会員からのみ会費の負担をしてもらう。
- (質問) 地域の全世帯にチラシ配布など地域ぐるみ、学校ぐるみの活動を計画しているが、コミュニティ運営協議会やPTAから活動資金の一部を出してもらうことを検討したのか。
- (団体から応答) この団体を立ち上げる中で、過度にコミュニティ運営協議会に依存せず、独立した組織とするために助成金等の申請はしていない。
- (意見) 申請書からは、備品購入目的の申請ではないかと思われ、プレゼンテーションをお聞きして内容が理解できた。
- (団体から応答) 備品については、個人情報の関係上必要であり、各施設で情報を共有するためにも備品が必要である。
- (質問) 団体が思い描いている姿を本当に実現できるのか。ただ単に指導員の育成に止まり、子どもたちをどう育成しているのかなど現場での活動が見えない。そのことについてどう思うか。
- (団体から応答) 子どもたちのために保護者がどのような活動をするのか、どのように協力するのが課題になる。本団体の活動は、今まで地域で実施してきた活動を進化させたものであると考えており、地域の方と子どもたちが活動することにより良い方向に向かうと考えている。
- (意見) 本補助金は市民活動団体の活動を支援するものだが、本事業は市民活動として何がしたいのかははっきりとしない部分がある。そのためこういうことを実現したいからこんな活動をするという説明が必要だと思う。
- (質問) タブレットのウイルス対策費は計上しないのか。
- (団体から応答) ウイルス対策を含め、業者に依頼しており、接続委託料の中に入っている。

いる。

(質問) 賛助会員は企業なのか、個人なのか。また会員数はどの程度なのか。

(団体から応答) 賛助会員の年会費は一口 1000 円であり、1 会員から複数口の会費をいただくこともある。現状としては、20 ほどの法人、企業、個人の方から会費をいただいている。これからも趣旨を理解していただける方に賛助していただけるようお願いしていく予定である。

④CLICK「地域でのプログラミング教室開催とPCの活用(3-2)」

市関連部署；子ども育成課、教育政策課

《質疑等》

(質問) 昨年度は学校と関われなかったとあるが、今年度は学校との連携する予定はあるのか。

(団体から応答) オンラインなどでプログラミングなどのイベントを通じて、実績をつくり、その後、学校と連携していきたいと考えている。

(意見) 学校も情報教育などの取組をしており、教育委員会を通じた情報提供などを実施し、学校とも連携をしてもらいたい。

⑤宗像ビブリオバトル倶楽部「ビブリオバトルを通じた読書活動推進事業(3-2)」

市関連部署；図書課

《質疑等》

(質問) 宗像市は図書館も充実しており、ビブリオバトルなどを活用してより本と親しめる取組も進めて頂きたい。計画書通り、中学校に訪問し、協力依頼はしたのか。

(団体から応答) まだ実施できていない。中学校に訪問できた際は、団体の取組の趣旨や想いを伝え、協力をうけたいと考えている。

(質問) 福岡県の中学生の不読率は全国平均より高い値となっており、また小学生等も高い値となっている。今年度の事業対象は中学生であるが、小学生や他の方に対しても事業を取組む予定はあるのか。

(団体から応答) 可能なら幅広い対象に取組を実施したいと考えている。他県で実施している中学生や高校生向けのモデルケースを参考にしており、まずは中学生に対する取組を成功させ、高校生、大学生、小学生と幅を広げていきたい。

⑥「子ども寺小屋カフェ」を運営する会「子ども寺小屋カフェ」等の事業(3-3)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質問) 活動に参加している子どもたちが事業に参加するきっかけは何か、またどういった方が参加しているのか。

(団体から応答) キっかけは口コミと広報で、参加した子どもや保護者が活動に誘う、

広報を見て活動に参加することが多い。南郷小学校など地域の子どもが参加している。

⑦二丁目小学校「二丁目小学校 開校(3-3)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質問) 地域での活動実績もあり、池野地区コミュニティ運営協議会の一部として活動することを池野地区コミュニティ運営協議会と協議してはどうか。

(団体から応答) 池野地区コミュニティ運営協議会と協議し、池野地区のまちづくり委員会に入っている。池野地区コミュニティ運営協議会の会長とは、二丁目小学校の活動を池野地区コミュニティ・センターの広報に掲載させてもらったりしている。

(質問) 来年度以降の補助金で賄っていた収入の減少分をどうするのか。

(団体から応答) 減少する収入については、自治会や池野地区コミュニティ運営協議会から補填してもらえないか考えており、また他の助成金を申請することも含めて検討していく。会員制にすると、輪が広がりにくいと考えており、可能な限り参加者の負担を減らしたいと考えている。

○元気な島づくり事業補助金

あ 大島学園PTA「おおしまワクワクプロジェクト(5-1)」

市関連部署；元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質問) 事業の予算に含まれているPTAからの収入は、PTAの総予算に占める割合はどの程度なのか。

(団体から応答) PTAの総予算はおおよそ30万円弱であり、PTAの総予算に対して事業に支払われている金額は、1割弱となる。

(意見) 大島学園の文化祭に派遣している指導者からも非常に好評であった。是非とも続けていただきたい。

(意見) 島の子どもの人数が少ないため、クラスのメンバーがどうしても固定されてしまう。そのためこのような活動によって人々と交流ができることは大切ではないかと思う。

(質問) 地域行事の消耗品が1人当たり1000円で予算化されているが、その金額で足りるのか。

(団体から応答) 漁協や地域の方などからの物品の提供などがあっている。捻出ができないものに対してのみ金額を計上しているため、少額の予算で済んでいる。

い 九州共立大学スポーツ学部「九州共立大学（大島プロジェクト）～筑前大島におけるスポーツを通じた健康づくり及びコミュニティづくり～(5-4)」

市関連部署；元気な島づくり課、文化スポーツ課、健康課、コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質問) 団体の活動費を人まち補助金と大学の研究費から捻出しているが、4年目からは補助率が低下しているが、今後の活動をどうしていくのか。

(団体から応答) 健康づくりは継続することに意味があることなので、この取組を長く実施していきたい。そのためにも補助金対象の最終年となる来年度までに、地域の方とつながりをつくり、島の人たちでできるきっかけになればと考えている。主に予算は、学生の島への渡船費になっており、補助金がなくなってしまうと、その費用の工面は必要となるため、大学からの協力や他の助成金などを活用していきたい。

う 地島小学校PTA「いきいき地島っ子活動支援」事業(5-5)」

市関連部署；元気な島づくり課

《質疑等》

(質疑) 今年が補助金対象の最終年となるが、来年以降の予算はどうしていくのか。

(団体からの応答) 県の事業等も含めて、他に活用できる事業があれば活用していきたいと考えている。事業内容も定着してきているので、家庭、島の方と協力して学校のできる範囲で実施し、活動の中身を工夫しながら持続可能な活動としていきたい。

=散会=